再評価調書

事　業　名		街路事業（都市計画道路　大県本郷線）
所　在　地		柏原市大正一丁目、今町一丁目、清州一丁目、清州二丁目、本郷一丁目、河原町地内
再評価理由		事業採択後10年を経過した時点で継続中
事業概要	目　　　的	（旧）国道１７０号と国道１７０号とを結ぶ幹線道路であり、ＪＲ関西本線とアンダー交差し、ＪＲ柏原駅周辺の交通流を円滑に処理するとともに、ＪＲ柏原駅前再開発事業区域への唯一のアクセス道路として、道路新設を行うものである。
	内　　　容	延長　０．６ｋｍ（国道２５号～都市計画道路法善寺築留線） 幅員　２０．０～２２．０ｍ 道路区分　第４種２級　２車線道路
	事　業　費	全体事業費：約７７億円　　うち投資済事業費：約２７億円 （内訳）用地補償費約４０億円　　（内訳）用地補償費約２６億円 （用地補償単価約２３万円／㎡） 工事費等約３７億円　　工事費等約１億円 （工事費等単価約６２０万円／m）
	維持管理費	約２．５百万円／年（約４．１百万円／㎞・年）
	上　位　計　画	大阪府交通道路マスタープラン 大阪府都市基盤整備中期計画（案）
	関　連　事　業	柏原駅西口地区第二種市街地再開発事業（柏原市施行） 都市計画道路上市今町線整備事業（柏原市施行）

		計画時の想定	現時点での状況	分析
事業の進捗状況	経　　　過	事業採択年度：H8年度 事業着手年度：H9年度 完成予定年度：H14年度	事業採択年度:H8年度 事業着手年度:H9年度 完成予定年度:H22年度	
	進　捗　状　況		用地:　５７％ 工事:　　３％	国道２５号から（都）上市今町線の区間について重点的に事業進捗を図っている。
	途中段階の整備効果発現状況	再開発事業へのアクセスとして、国道２５号から（都）上町今町線までの区間（約１２０ｍ）について、再開発事業の完成と併せて供用することとしている。		
	事業進捗に関する課題			

		計画時の想定	現時点での状況	分析
事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	ＪＲ柏原駅周辺の府道は幅員が約５ｍ程度と狭い上に一方通行であり、またＪＲ関西本線とは踏切交差となっていることから、ＪＲ柏原駅及び商店街へのアクセスが不便となっていること。また、ＪＲ柏原駅西側において再開発事業が実施される予定であったことから、本地域の交通渋滞の緩和を解消するとともに、本地域の発展に寄与するものとして整備に着手した。	計画時と同様に、ＪＲ柏原駅周辺の道路状況並びにアクセスの改善、交通渋滞の緩和を図る必要があることから、整備を行う必要がある。	
		（周辺道路） 柏原停車場大県線 交通量　1,274台 混雑度　0.70 旅行速度　14.3km/h ※平成６年交通センサスより	（周辺道路） 柏原停車場大県線 交通量　1,750台 混雑度　1.18 旅行速度　13.4km/h ※平成１１年交通センサスより	交通量、混雑度ともに増加しており、依然として交通混雑していることから、この緩和を図る必要がある。
	地元等の協力体制	ＪＲ柏原駅へのアクセスの改善と駅周辺部の渋滞緩和と地域の発展のため、早期整備が望まれている。	交通量、混雑度ともに増加しており、依然として交通混雑していることから、早期整備が望まれている。	平成２２年度の完成に向け、引続き地元の協力を得て、事業推進に努める。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th rowspan="2">計画時の想定</th><th></th><th rowspan="2">現時点での状況（変更点）</th><th rowspan="2">分析</th></tr>
<tr><th>備　　考</th></tr>
<tr><td rowspan="2">事業効果の定量的分析</td><td>費用便益分析</td><td>※計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出することができなかったものの、本事業整備による事業効果が期待される。</td><td>・具体的な便益内容
走行時間の効果
（走行時間の短縮）
走行経費の効果
（時間短縮による走行経費の節減）
・受益者　道路利用者</td><td>・Ｂ／Ｃ＝１．８７
総便益
Ｂ＝　１４０．７億円

総費用
Ｃ＝　　７５．３億円
※算出根拠
費用便益分析マニュアル（国土交通省平成１５年８月）</td><td>本事業整備による事業効果が期待できる。</td></tr>
<tr><td>その他の指標
（代替指標）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">事業効果の定性的分析</td><td>安全・安心</td><td>・歩車道分離による歩行者、自転車の安全確保</td><td>・受益者
地域住民、道路利用者</td><td>変更点特になし</td><td></td></tr>
<tr><td>活力</td><td>・物流の効率化の支援</td><td>・受益者
地域住民</td><td>変更点特になし</td><td></td></tr>
<tr><td>快適性</td><td>・十分な歩道及び車道の確保により快適性向上
・ＪＲ柏原駅へのアクセス性向上</td><td>・受益者
地域住民、道路利用者</td><td>変更点特になし</td><td></td></tr>
<tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自然環境等への影響と対策</td><td colspan="2">・道路の整備により旅行速度が向上し、ＣＯ２の排出量が削減される。
・植樹帯の設置により、緑の回復に努める</td><td>変更点特になし</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">その他特記すべき事項</td><td colspan="4">・鉄道事業者との設計・施工協議において、列車運行の安全確保等を図るために必要な対策工等を追加する場合は、工事費に変動あり。
鉄道事業者との協議状況：交差方法（アンダーパス）等についての計画協議を終え、現在、施工方法や本施工に伴い移設等が発生する鉄道施設の設計等を行っている。（設計協議中）
この設計協議を踏まえ、平成１９年度に施工できるよう施工協議（協定締結）を行う予定。</td></tr>
</table>